

第70回 宮崎県保育事業研究大会開催要綱

● 大会主題 ●

「すべての子どもの権利と育ちを

保障していく社会の実現」をめざして

1. 趣 旨

宮崎県保育事業研究大会は昭和29年から令和元年度までに69回開催してきました。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、令和3年度は完全オンラインで実施しました。令和4年度からは現地参集型で行い、今年度で70回目となります。

全国的に人口減少・少子高齢化が急加速し、どの産業においても人手不足・物価高により、私たちの生活にも暗い影を落としています。また、県内の保育現場では人口減少に伴い利用定員の変更など施設運営にも影響が出始めています。保育人材の確保においては、学生数の減少により新卒採用も売り手市場の状況の中、特に人口減少地域では、非常に厳しいものとなっています。潜在保育士の支援・復帰も様々な方策を講ずるも上手く進まず、宮崎県だけでなく全国的にも大きな影響がでています。

令和5年4月、「こども家庭庁」が創設され、こども施策を社会全体で総合的かつ強力で推進していくための包括的な基本法として「こども基本法」が施行され、「こどもまんなか社会」を目指した取り組みが進められています。

これからの時代を生きる子どもたちに必要な力や経験を、大切な乳幼児期にしっかり育むために、私たち保育者も社会から求められるニーズへの変化対応が急がれます。

「こども基本法」の施行により「こどもまんなか社会」が提唱され、保育者にとっての「専門性」「質の向上」は最重要課題となっています。

宮崎県保育連盟連合会では、「こどもまんなか社会の実現」に向けた取り組みを、保護者や地域の福祉ニーズとともに、子どもにとっての「最善の利益」を尊重し、保育内容の研究を深め、「養護と教育の実践」の更なる向上を目指すことを目的として、本大会を開催いたします。

2. 主 催 一般社団法人 宮崎県保育連盟連合会

3. 後 援 宮崎県・宮崎市・社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会（予定）

4. 期 日 令和6年2月28日（水）

5. 会 場 シーガイアコンベンションセンター

宮崎市山崎町浜山（TEL：0985-21-1164）

6. 費用

(1) 次の費用は参加者の負担といたします。

参加費（資料代）：会員施設・3,000円、非会員施設・5,000円

養成校職員・2,000円、学生・1,000円

昼食代（お弁当・お茶付）：1,100円

※ 記念講演のみ参加の場合でも参加費は同金額です。

(2) 意見発表者・助言者については参加費及び昼食代は免除します。なお、被表彰者及びその他の役員・係員については、参加費及び昼食代が必要となりますのでご注意ください。

7. 日程及び大会内容

(1) 日程

| | 9 | 10 | 30 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|-------------|---|--------|--------|------|--------|----|-------------|----|----|
| 2/28 (水) | | 受 付 | 式 典 | 記念講演 | 昼 食 | | 分 科 会 | | |

(2) 日程及び内容

9:00～10:00 受 付

10:00～10:30 式 典

10:30～12:00 記念講演

演 題：「マジックと音楽と絵本のセミナー

～こどもの世界を彩る3つの魔法～」

講 師：大友 剛（おおとも たけし）氏

（ミュージシャン&マジシャン&翻訳家）

☼ プロフィール ☼

自由の森学園卒業後、アメリカ・ネバダ州立大学で音楽と教育を学ぶ
卒業後、フリースクールのスタッフとして不登校、引きこもりの若者と共同生活
をする傍ら「音楽とマジックと絵本のコンサート」で活動

12:00～13:00 昼 食

13:00～16:00 分 科 会

8. 分科会テーマ及び研究課題

「全国保育協議会の将来ビジョン」の構成にそって、本大会の分科会テーマを設定していますが、九保大会へ進む分科会（第6・第7・第8）と特別分科会（保育士部）の4つの分科会で開催します。

◆ 分科会の方法について

座長を中心に分科会のスタイルに合わせたタイムスケジュールにて開催いたします。

【カテゴリー4】子育て文化を育む

子どもを対象とした犯罪や虐待を未然に防ぐために、次世代を創造する子どもをかけたえのない存在として愛しみ、尊いものとして価値を認め、子どもや子育てに多くの人に関心を持つ子育て文化をつくります。保育所・認定こども園等が社会全体で育む子育て文化を地域社会に発信します。また、地域共生社会を実現するため、保育所・認定こども園等の機能を社会に開き、地域社会に根ざした運営をめざします。

第 1 分科会（九州・全国大会では第 6 分科会）

家庭や地域との連携による食育の推進

乳幼児期の食育の推進は、「食べる」ことや「いのち」への関心、さらに適切な食習慣の形成において大変重要です。そして食に関する家庭との相互理解、さらには地域子育て家庭にむけた食育実践や地域の食文化継承などの視点から、保育所・認定こども園等のみならず家庭や地域との連携のもとで実践を進めることが必要となります。

さらに保育現場では、自園調理の意義や有用性の確立ならびに、食物アレルギーをもつ子どもへの対応等も大きな課題となっています。

本テーマでは、保護者、家庭や地域と連携した食育の実践、食物アレルギーへの対応、食をとおした保育実践のあり方などについて研究を深めます。

- 担 当 部 : 給食部
- 意見発表者 : 宮崎市地区
- " : 延岡市地区
- 助 言 者 : 高妻 瑠弥乃 氏（宮崎学園短期大学 保育科 講師）

第 2 分科会（九州・全国大会では第 7 分科会）

保育の社会化にむけて ～保育の営みをいかに社会に発信するか～

少子化や核家族化がすすむなか、社会における人と人、とくに子どもとおとながつながる場面が少なくなりつつあり、社会における子ども・子育てへの関心低下につながっています。こうしたなか、子育て家庭や保育関係者にかぎらず、すべての人が子どもや子育てに関心をもつ取り組みが、安心して子どもを産み育てることができる社会づくりにむけて大切です。

本テーマでは、保育所・認定こども園等の地域にむけた諸活動の展開により、広く地域や国民に対して子ども・子育てへの関心や保育の営みの重要性を発信し、地域全体で子育てを考えていく取り組みについて、研究を深めます。

- 担 当 部 : 子育て支援部
- 意見発表者 : 都北地区（都城市）
- // 東諸地区
- 助 言 者 : 横山 槇子 氏（みずほ保育園 園長）

【カテゴリー5】子育て・子育てを支援する仕組みをつくる

わが国の家族関係の給付のGDPに占める割合は諸外国のなかでもとても低い水準です。こうした政策のあり方を改善するとともに、未来の日本の社会を担う子どもを中心において、子どもたちが豊かに育つ環境を社会全体が支えていく仕組みについて研究・提言します。

第 3 分科会（九州・全国大会では第 8 分科会）

公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割

保育・子育て支援の今日的な流れにおいては、都道府県や市町村に保育制度・施策に関する責務が増大する方向性であり、保育の質やその実践において地域間格差が進むことが懸念されます。

本テーマでは、地域全体の保育の質の向上にむけた公立保育所・公立認定こども園等の意義や役割意識の普及、行政機関でもある特性を活かした具体的実践のあり方などについて研究を深めます。

- 担 当 部 : 公立部
- 意見発表者 : 日向東臼杵地区（日向市）
- 助 言 者 : 田村 智佐枝 氏（NPO 法人 SUN クラブひまわり 理事長）

【特別分科会】配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて

保育所・認定こども園等では、発達障害、医療的ケア児、要保護児童など配慮を必要とする子どもの増加が指摘されてきています。また保護者自身が生活面など何らかの課題をもち、子育てに困難が生じるケースも増えています。

本テーマでは、こうした子どもや保護者に対する保育・子育て支援関係者としてのかかわり方、あるいは保育者としていかに寄り添い、支援をおこなうべきかについて、研究を深めます。

- 担 当 部 : 保育士部
- 意見発表者 : 宮崎市地区
- // 西臼杵地区
- 助 言 者 : 水野 敦之 氏
(宮崎県中央発達障害者支援センター センター長)

9. 参加者の範囲

- (1) 宮崎県保育連盟連合会会員施設長が次の範囲から推薦した者
 - ① 保育園（所）・認定こども園の設置者・施設長及び職員
 - ② 小規模保育所・児童館の施設長及び職員
 - ③ 保護者 等
- (2) 県・市町村の保育行政関係職員
- (3) 保育士養成校の職員及び学生 等

10. 顕 彰

顕彰は、顕彰規程に基づき、宮崎県保育連盟連合会理事長が式典において行います。各施設長は、別添推薦書を令和6年1月19日（金）までに大会事務局に提出してください。（推薦者印が必要です。郵送でお願いします。FAX 不可）
なお、表彰決定通知書は被表彰者所属施設にお送りいたしますので、ご了承ください。

11. 参加申込み

- (1) 参加申込みにあたっては、宮崎県保育連盟連合会 HP の【第70回宮崎県保育事業研究大会参加申込フォーム】をクリックすると、申込フォームに移動しますので開催要綱にて申込区分等をご確認のうえ、お申し込みください。

※ 役員（発表者含む）・係員においても参加申込みが必要となります。

【 参加申込専用フォーム 】

第70回宮崎県保育事業研究大会参加申込フォーム
<https://forms.gle/FvWDCDCQZ7cThgCYA>



* 申込締切 第一次 令和6年1月31日（水）
第二次 令和6年2月14日（水）

- (2) 参加申込みを受付いたしましたら、申込フォームで入力したメールアドレスへ、下記のような申込受付メールが届きます。

| |
|--|
| 件名：「第70回宮崎県保育事業研究大会 参加申込フォーム」 本文：「第70回宮崎県保育事業研究大会 参加申込フォーム」にご記入いただきありがとうございます |
|--|

上記メールが届きましたらお申込み完了となります。このメールが届かない場合は、受付が出来ていませんので、必ず受信の有無をご確認ください。

参加費用は、東武トップツアーズよりメールにて請求書が届きますので、内容をご確認のうえ、令和6年2月14日（水）までにお振込みをお願いいたします。

※ 県保大会では、参加券等の発行はございません。

※ 領収書が必要な場合は、申込の際、備考欄にご入力ください。当日お渡しします。

※ 振込手数料は、各自ご負担となりますので、ご了承ください。

(3) 参加申込をされた方で、令和6年2月14日(水)以後に参加を取り消される方の参加費等については、徴収させていただきます。
なお、大会資料(冊子)を後日送付させていただきます。

(4) 昼食希望の方は予め注文してください。なお、研修当日のキャンセル等変更はできませんのでご了承ください。(弁当:1,100円)
弁当代について、何らかの事情で振込みができない方は当日お支払いください。

(5) 申込変更について

申込内容の変更は、令和6年2月14日(水)までに、東武トップツアーズ株式会社 宮崎支店 メールアドレス「miyazaki0228@tobutoptours.co.jp」へ変更内容をお知らせください。

12. 個人情報の取り扱いについて

- 参加申込にあたりご入力いただいた個人情報は、本大会の運営・管理の目的に限って使用します。
- 本大会の申込受付等に関する業務を東武トップツアーズ株式会社 宮崎支店に委託し、上記の目的のため情報を共有します。

13. その他

- ポスター発表申込みの方は、募集要項に従って準備してください。

14. お問い合わせ先

【 研究大会の内容に関すること 】

一般社団法人 宮崎県保育連盟連合会事務局 (担当:長嶺・太田・原田・外前田)

〒880-0007 宮崎市原町2-22 宮崎県福祉総合センター内

TEL: 0985-28-5835 (受付時間: 平日 8:30 ~ 17:15)

FAX: 0985-28-5989 E-mail: office@m-hoiku.or.jp

【 申込みに関すること 】

東武トップツアーズ株式会社 宮崎支店 (担当:市来・南)

〒880-0805 宮崎市橘通東3丁目1-47

TEL: 050-9001-9774 (受付時間: 平日 9:30 ~ 12:00、13:00 ~ 17:30)

FAX: 0985-29-3010 E-mail: miyazaki0228@tobutoptours.co.jp